

市制50周年記念

特集

上尾の今日は、昨日からの贈り物。
明日の上尾がもっと輝くように、
たくさんの夢が、大空高く舞い上がります。

上尾の



Ageo's Now • Past • Future

今

昔

未来



現在のJR上尾駅東口と
新しい上尾駅の整備予想図



空から見た

50年目の上尾

潤いに満ちた水辺と
緑豊かな大地の中に、
未来に花咲く元気な街が広がっています。
「あなたにげんきをおくるまち」の姿を、
空から眺めてみましょう。



JR北上尾駅に近接した
ショッピングモール



買い物に便利な大型スーパーストア

にぎわいと潤いのある都市空間

上尾市の中心部、上尾地区の昭和32年当時の人口は約1万5,000人、大谷地区は約3,600人で、総人口の約半数を占め、旧中山道沿いに商店街が広がっていました。

現在は、平成22年度の完成を目指して改修が進むJR上尾駅や、昭和63年に開業した北上尾駅を中心に、にぎわいと潤いのある都市空間の中に、市役所や図書館、文化センターなど公共施設が多く集まっています。

The Downtown Area

The population of downtown Ageo in 1957 was approximately 18,600, a figure that accounted for nearly half of the population of the town at the time. Currently, the downtown area is centered near the JR Takasaki Line Ageo Station and the Kita Ageo Station. Many public facilities are centrally located in this area, which maintains a festive and pleasant municipal atmosphere.

西部 エリア

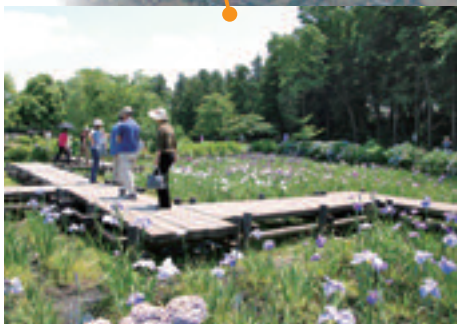
西端の市境を荒川が流れ、豊かな水と緑の空間が広がるエリアです。昭和53年には上尾丸山公園がオープンしました。

昭和32年当時の人口は平方地区約3,900人、大石地区約5,500人。43年に西上尾第一団地、45年には西上尾第二団地への入居が始まり、市の人口は10万人を突破しました。原市・尾山台と並んで人口急増のきっかけとなった地区です。

荒川沿いの豊かな水と緑が特長



多くの企業が進出する領家工業団地



四季折々の花が咲く
水と緑の憩いの場・上尾丸山公園

県道川越・上尾線



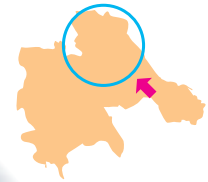
緑あふれる環境の中に林立する
西上尾第一・第二団地



Western Area

The Ara River flows along the western boundaries of Ageo and is home to the Ageo Maruyama Park, making the area a popular gathering place for local residents. The population of this area in 1957 was approximately 9,400. In 1968, the population of this same area began to rise with the completion of the Nishi Ageo No. 1 and No. 2 Housing Complexes.

スポーツ施設や観光農園が点在



特産のキウイフルーツやブドウの観光農園

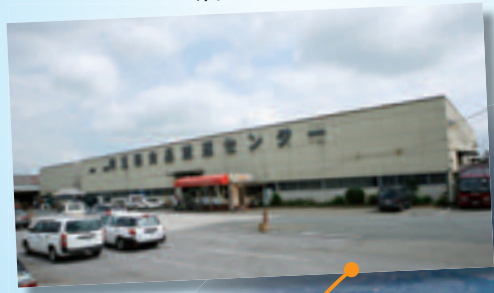


市の北東部に当たるエリアです。上平地区の昭和32年当時の人口は約3,800人でした。

平成10年にオープンした上平公園には、上尾市民球場やテニスコートがあり、スポーツ都市・上尾の拠点の一つとなっています。観光農園などが点在する一方で、国道17号沿いにはアクセスのよさを生かして県食品流通センターがあります。



国道17号沿いにある県食品流通センター「上尾市場」



Northeastern Area

The population of this area in 1957 was approximately 3,800. The opening of the Kamihira Park in 1998 brought with it a municipal baseball facility and tennis courts and came to serve as one of the focal points of sports activities in Ageo. Today there are also tourist farms and a prefectural food distribution center.



市民球場やテニスコートのある上平公園



初夏には古代ハスが咲き乱れる原市沼

大規模な住宅団地、尾山台団地と原市団地



気軽に乗れる市民の足、ニューシャトル

Southeastern Area

Arterial highways cross through this area, and the "New Shuttle" with its AGT (Automated Guideway Transit) provides excellent transportation access. The population of this area in 1957 was approximately 3,800. With the completion of the Haraichi and Oyamadai Municipal Housing developments in the mid-1960s, Ageo began to develop as a satellite city for commuters in the Tokyo metropolitan area.

昭和32年当時の原市地区の人口は約3,800人でした。昭和41年に原市団地、42年には尾山台団地で入居が始まり、上尾市は首都圏のベッドタウンとしての位置を確立したのです。

国道16号や第二産業道路など幹線道路が縦横に走り、ニューシャトルが大宮と結ぶ交通アクセス抜群のエリアです。

ニューシャトルが走るベッドタウン

南東
エリア